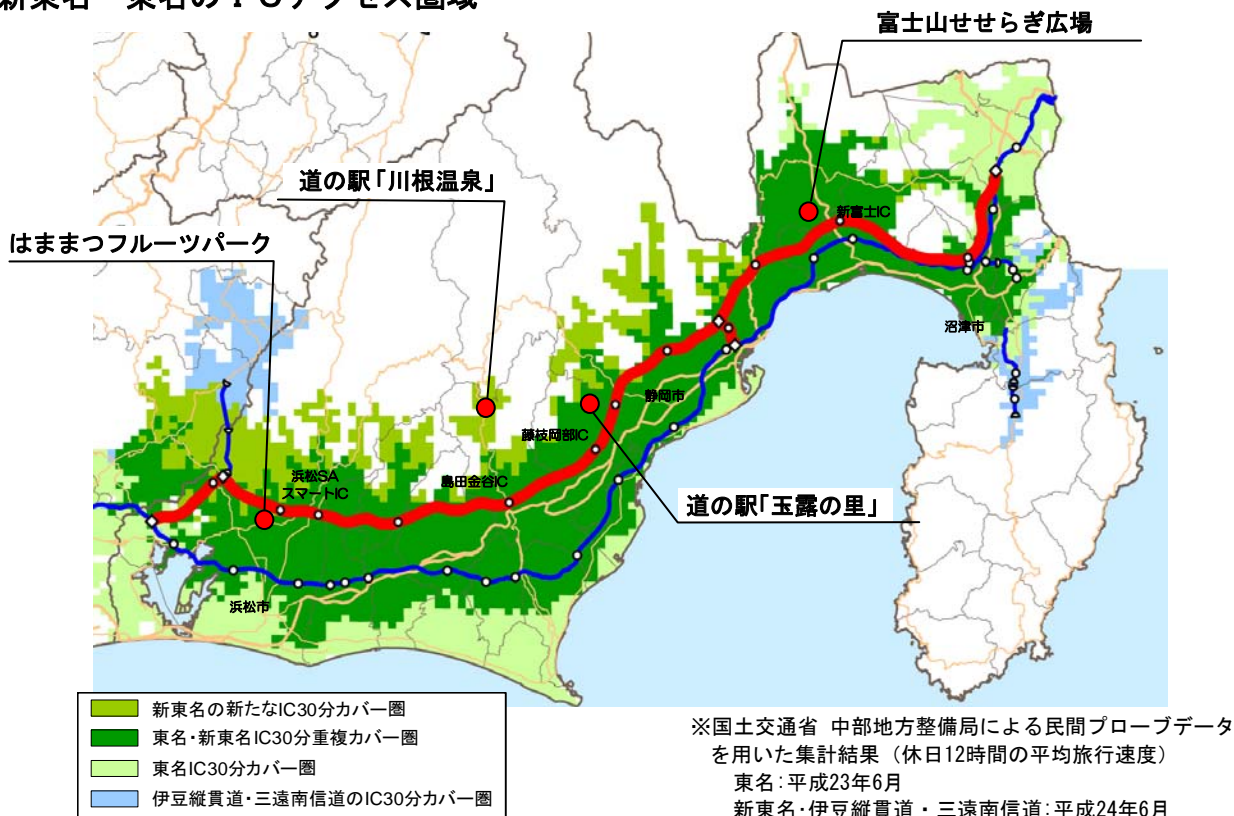


1. 新東名・東名のICアクセス圏域および沿線観光・休憩施設の集客圏の拡大

- ・新東名の開通により、新たな高速IC30分圏域が拡大し、新東名、東名どちらからも30分となる圏域が広がっています。
- ・新東名沿線の観光・休憩施設管理者は、新東名開通後に県外からの利用者の増加を実感しています。

■新東名・東名のICアクセス圏域



はままつフルーツパーク



浜松SAスマートICからフルーツパークまでの行き方に関する問い合わせが増えました。



富士山せせらぎ広場



新東名が開通し、県外からの来客が多くなったが、もっと増やしたい。



道の駅「川根温泉」



川根の良さを県外の方に知ってもらい宿泊客も増やしたい。



道の駅「玉露の里」



新東名が開通し、県外からの来場が増加したと感じている。

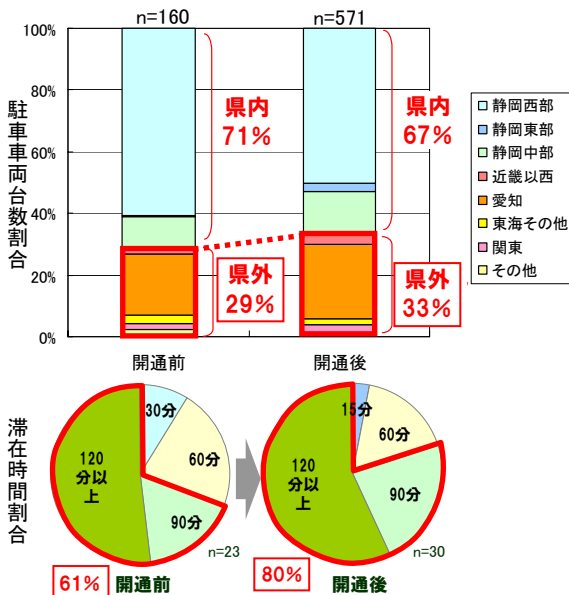


出典：施設管理者ヒアリング

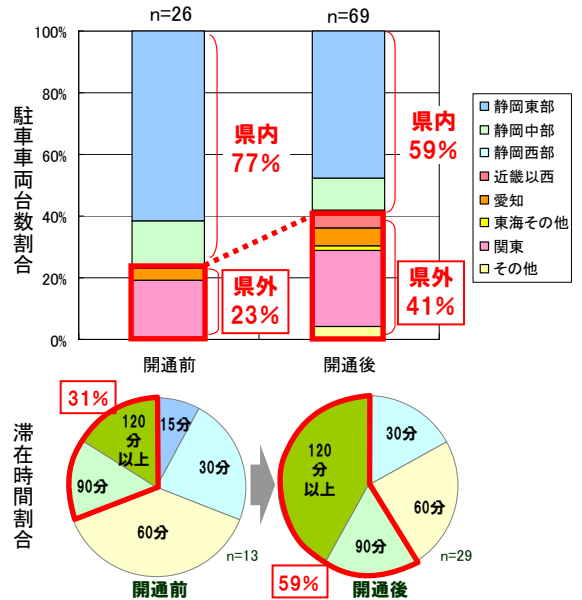
- ・ 新東名沿線の観光・休憩施設では、開通後の集客圏が拡大、これまでより県外地域からの集客が多くなっています。
- ・ 各施設の利用者アンケート結果では、昨年に比べ滞在時間が長くなっています。

■新東名沿線の観光・休憩施設の駐車車両と滞在時間の変化

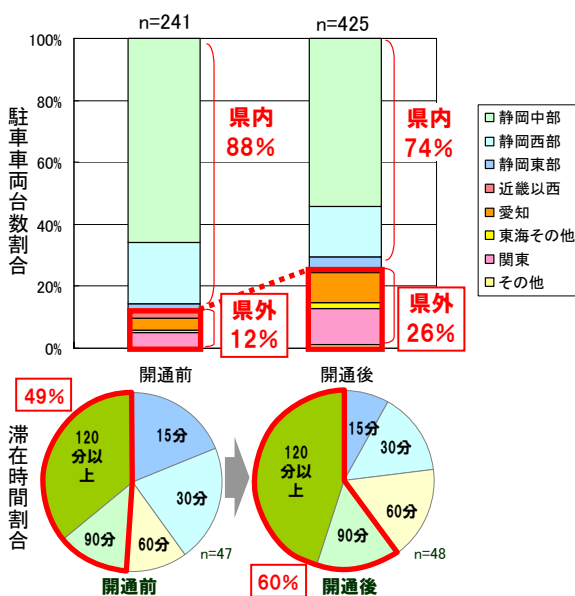
はままつフルーツパーク



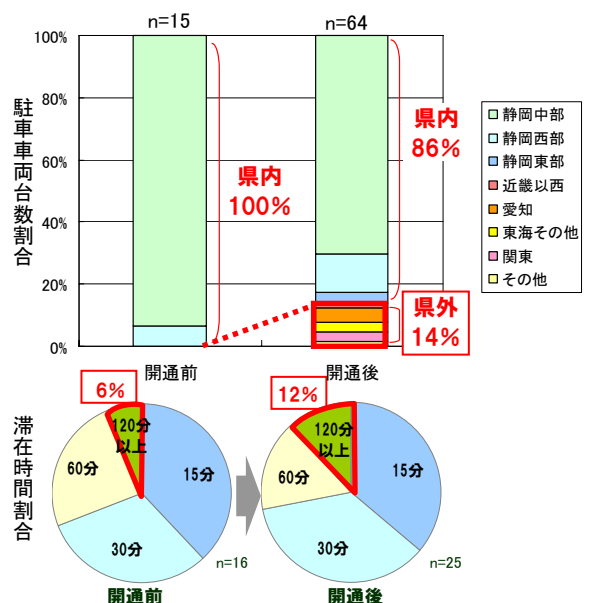
富士山せせらぎ広場



道の駅「川根温泉」



道の駅「玉露の里」



出典：国土交通省 中部地方整備局・浜松市 車籍地・利用者アンケート調査結果

開通前：平成23年11月20日（日）アンケート配布・車籍地調査（14時台）

開通後：平成24年 9月23日（日）アンケート配布、10月7日（日）アンケート配布・車籍地調査（14時台）

2. 新東名に接続する三遠南信自動車道の変化

- ・ 新東名・三遠南信自動車道の開通により日帰り観光圏が拡大し、鳳来峡ICからの60分圏交流人口は、静岡県内で約5倍、愛知県内で約2倍、90分圏交流人口は、静岡県内、愛知県内ともに約2倍に増加しました。
- ・ これにより静岡県内人口の約7割、愛知県内人口の約9割の方々が、鳳来峡ICに90分以内で到達できるようになりました。

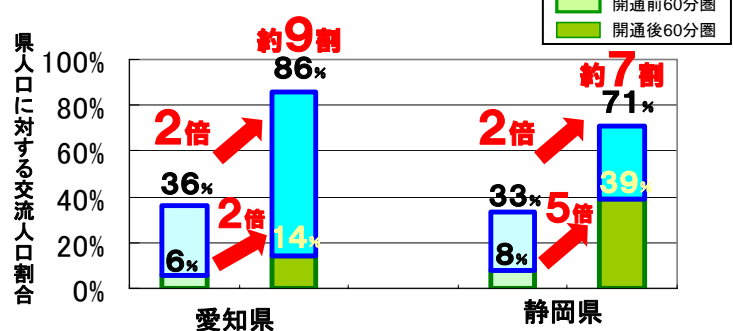
■三遠南信自動車道の鳳来峡ICの60分圏域の拡大



■三遠南信自動車道の鳳来峡ICの90分圏域の拡大



■鳳来峡ICの交流人口の拡大

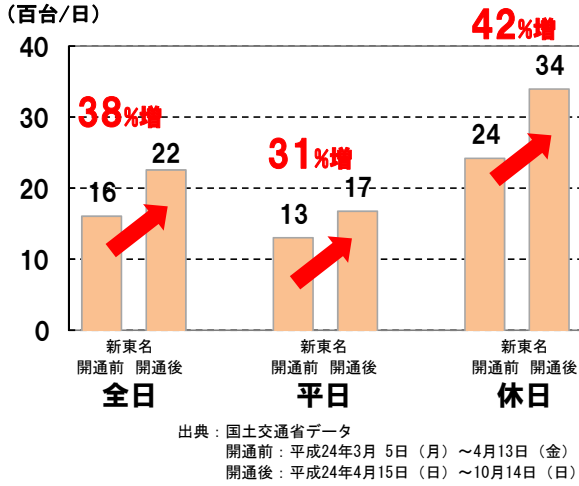


三遠南信自動車道から新東名高速道路を望む

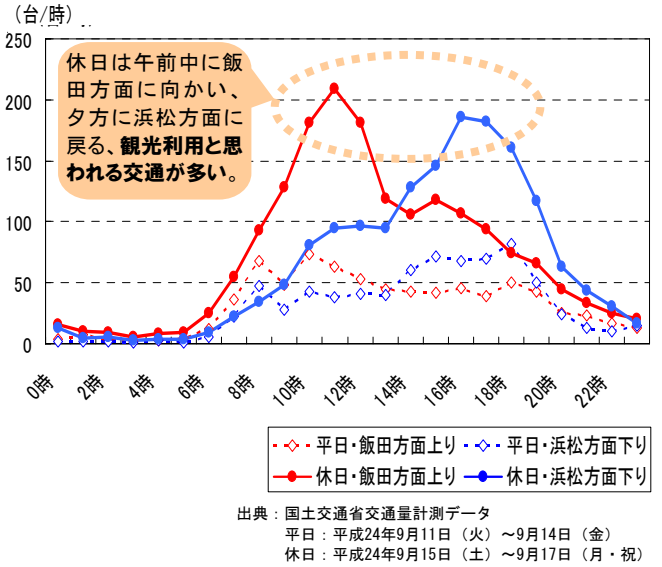
※国土交通省 中部地方整備局による民間プローブデータを用いた集計結果（休日12時間の平均旅行速度）
開通前：平成23年6月
開通後：平成24年6月

- ・ 三遠南信自動車道の休日交通量の時間変動は、午前中に鳳来峡IC方面へ向かう交通が多く、夕方に掛け浜松いなさJCTへ向かう交通が多くみられました。
- ・ 道の駅^{しんしゅうにいのせんごくだいら}「信州新野千石平」では、休日の買い物客数が約5割増加し、「県外からの来客が増えた」との施設管理者の声もありました。

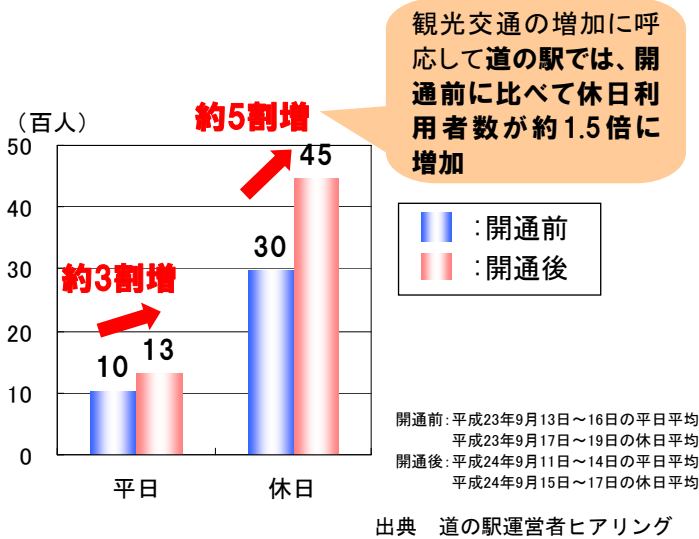
■三遠南信自動車道の交通量



■三遠南信自動車道 平・休別、時間帯別交通量



■道の駅「信州新野千石平」買い物客数の変化



新東名開通後は、静岡県方面や関東方面、愛知県方面と広域から利用者が増えました。



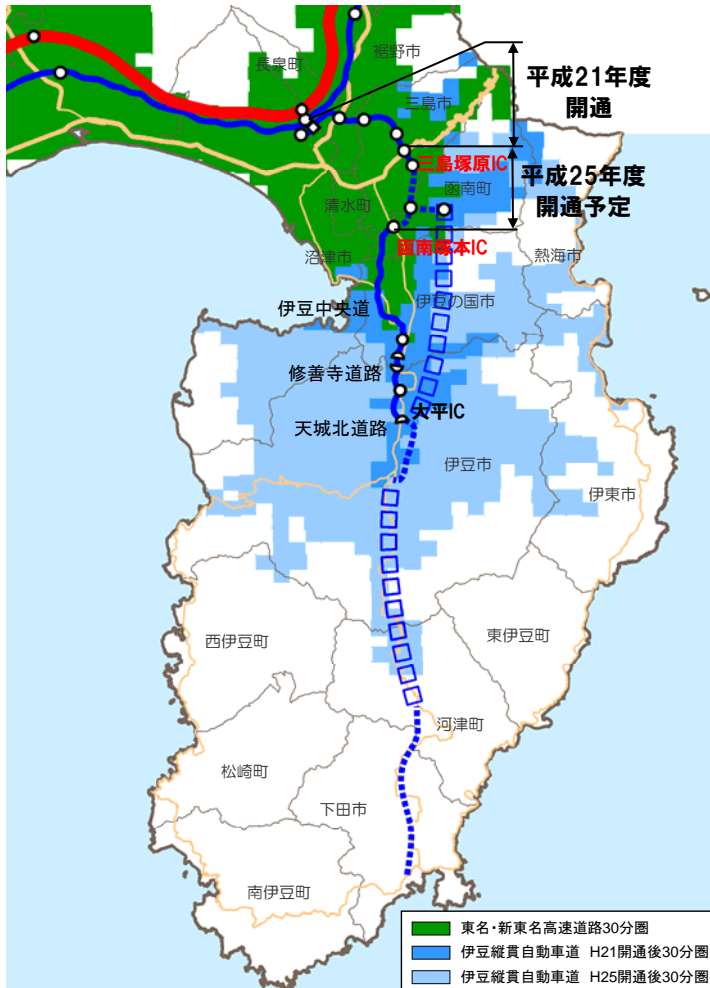
出典 道の駅運営者ヒアリング

3. 新東名に接続する伊豆縦貫自動車道の変化

- 平成21年度に伊豆縦貫自動車道 沼津IC～三島塚原IC間が開通しましたが、伊豆地域^{*}のIC30分圏域は、全体の約2割に留まっています。
- 平成25年度に三島塚原IC～函南塚本IC間が開通(延伸)すると、大平ICまで道路ネットワークが繋がり、IC30分圏域は約2倍に拡大し、伊豆地域全体の約4割の地域がICから30分以内で到達できるようになります。

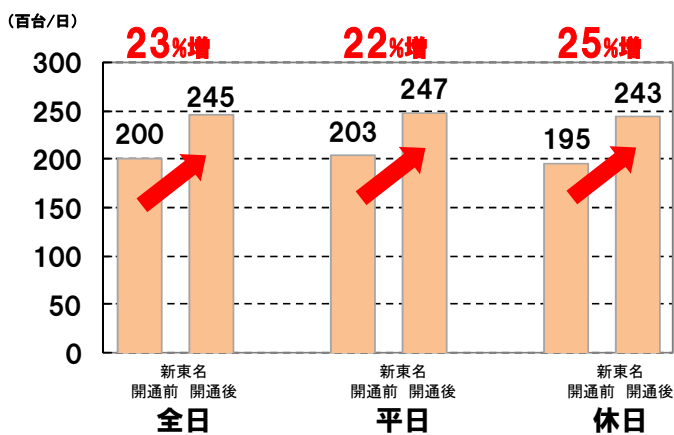
※ここでの伊豆地域は、沼津市、熱海市、三島市、長泉町、函南町以南の市町を対象としています。

■伊豆縦貫自動車道によるIC30分圏域の変化



※国土交通省 中部地方整備局による民間プローブデータを用いた集計結果
(平成24年6月 休日12時間の平均旅行速度)
H21開通後30分圏: 平成21年度開通区間(三島塚原IC)からの30分圏域
H25開通後30分圏: 平成25年度開通予定区間を含め伊豆中央道+修善寺道路+天城北道路(太平IC)からの30分圏

■伊豆縦貫自動車道の交通量



平成21年度開通区間



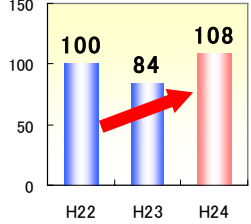
三島塚原ICから平成25年度開通予定区間を望む

- 伊豆半島の玄関口にある主要な観光施設において、入り込み客が増加傾向にある一方、南伊豆地域の施設では、横ばいもしくは減少傾向にあります。
- 南伊豆地域では、平成25年度開通予定の三島塚原IC～函南塚本IC間と伊豆中央道とのネットワーク接続による新東名との相乗効果に期待する声が聞かれます。

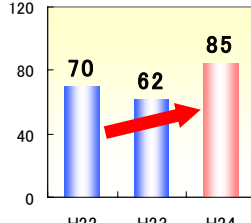
※昨年は東日本大震災の影響により、全体的に減少傾向

■静岡県東部地域の主要観光施設の入込み客数の変化

大型展望水門びゅうお
(百人/月) (沼津市)

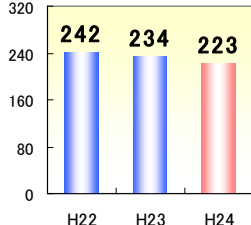


あわしまリンパーク
(百人/月) (沼津市)

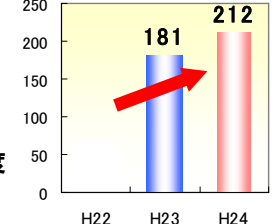


※イベント開催による増加が影響

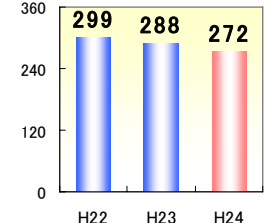
修善寺 虹の郷
(百人/月) (伊豆市)



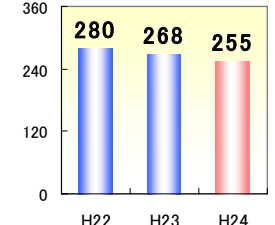
伊豆の国パノラマパーク
(百人/月) (伊豆の国市)



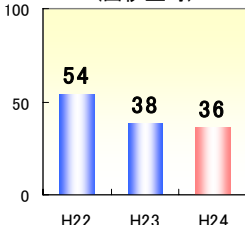
伊豆・三津シーパラダイス
(百人/月) (沼津市)



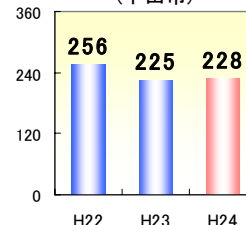
伊豆シャボテン公園
(百人/月) (伊東市)



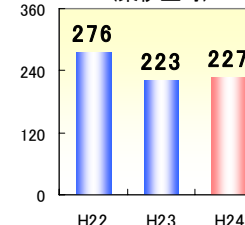
らの里堂ヶ島
(百人/月) (西伊豆町)



下田海中水族館
(百人/月) (下田市)



伊豆アニマルキングダム
(百人/月) (東伊豆町)



出典：観光施設アンケートによる入り込み客数（カウント方法は各観光施設による）
平成22年～平成24年の4月～9月（各年5ヶ月間）
伊豆の国パノラマパークは、H23からカウント開始



下田海中水族館 提供

・平成25年度には伊豆縦貫自動車道が開通し、伊豆中央道との接続による時間短縮が見込めます。これによる新東名との相乗効果に期待しています。



出典：下田海中水族館ヒアリング